

道 路 関 係

【防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保】

国道3号 鳥栖久留米道路【直轄】

道路一1

■鳥栖久留米道路は、久留米市内の環状道路機能の強化など幹線道路網を形成し、久留米市街地の交通混雑の緩和及び開発計画を支援することを目的とした道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道3号鳥栖久留米道路の改良工事、橋梁下部工工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》

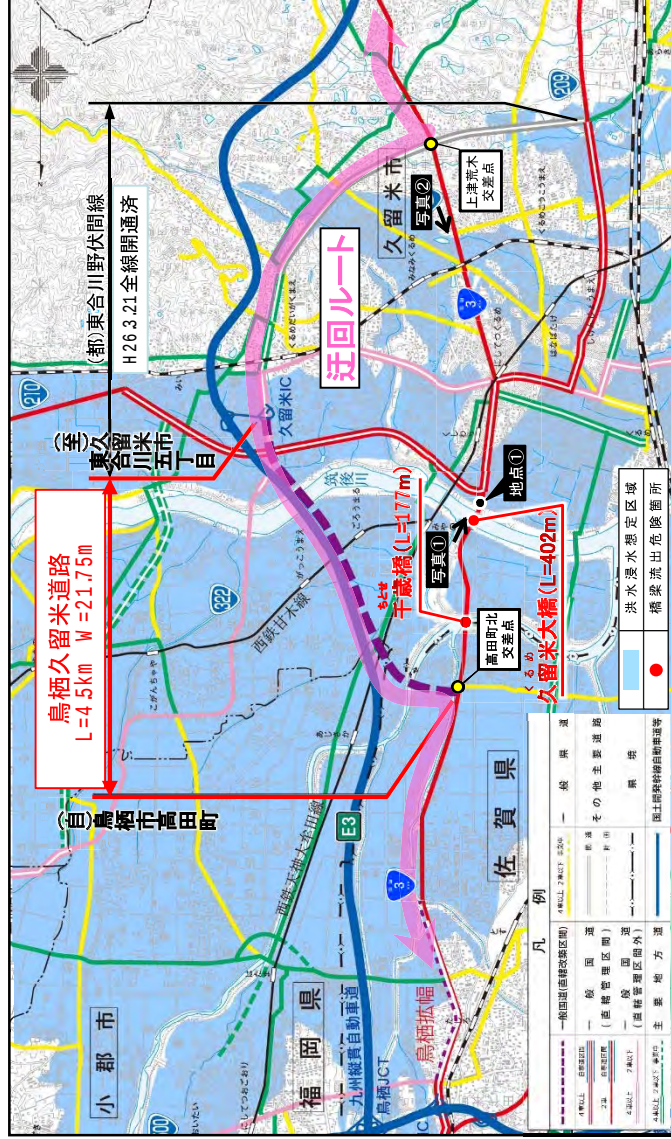


《諸元等》

事業区間：佐賀県鳥栖市高田町
～福岡県久留米市東合川5丁目

延長：4.5km
全体事業費：304億円
R2補正：15.9億円（うち福岡県10.0億円、佐賀県5.9億円）

《平面図》



《現地状況写真》

写真①

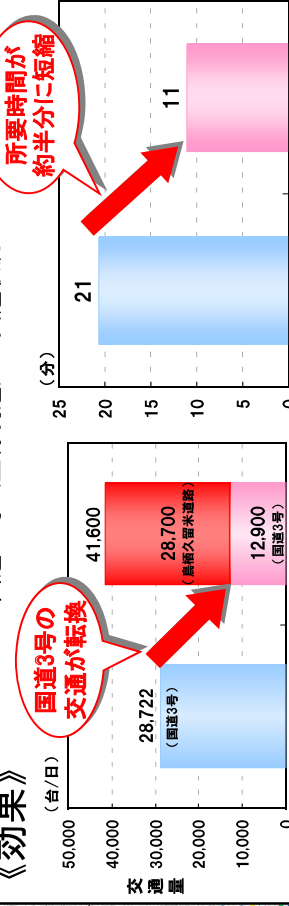


写真②



《効果》

▲国道3号（並行現道）の交通状況



資料：福岡国道事務所調査結果(H26.10)
交通量推計結果(R12)

資料：H22道路交通センサス
※将来は規制速度を用いて所要時間を算出。

▲交通量の変化(地点①)

▲所要時間の変化
(高田町北交差点～上津荒木交差点)

○本路線の整備により、交通混雑の緩和及び移動時間の短縮が図られ、さらに洪水浸水想定区域及び橋梁流出危険箇所（久留米大橋、干歳橋）の迂回が可能となり、災害時においても緊急車両や一般車両の通行を確保できる。

国道201号 八木山バイパス【直轄】

道路-2

■ 国道201号八木山バイパスは、福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ国道201号の2車線区間を4車線化することにより、交通ボトルネックを解消し、信頼性の高いネットワークを構築するとともに、対面通行区間を解消し、安全・安心の確保を目的とする4車線拡幅事業。

■ 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道201号八木山バイパスの改良工事、橋梁下部工工事等を実施することで、篠栗IC～筑穂IC間の令和6年度の開通、筑穂IC～穂波東IC間の令和11年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県糟屋郡篠栗町篠栗
～飯塚市弁分

延長：13.3km
全体事業費：360億円
R2補正：9.7億円

《整備効果》

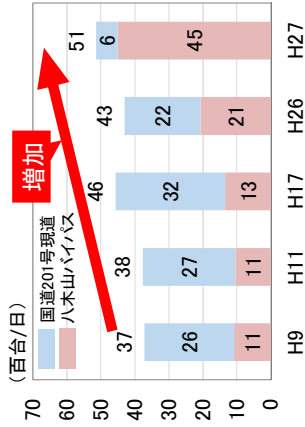
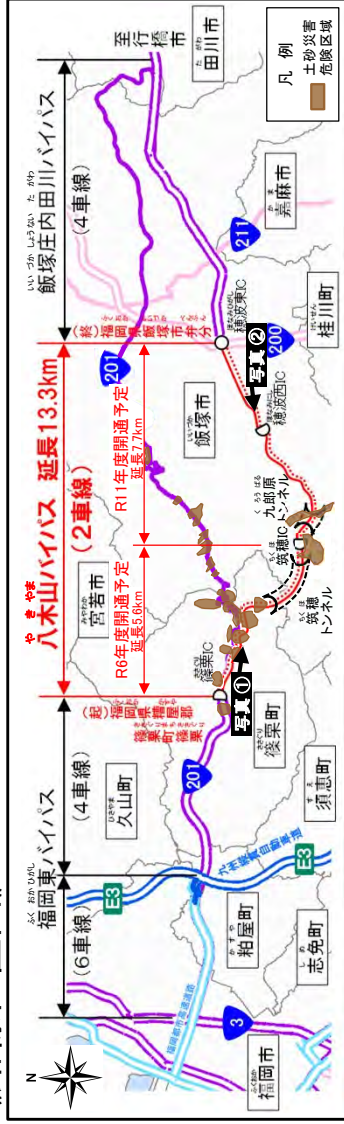
【写真①】スタック車両の発生状況



【写真②】正面衝突事故の発生状況



《路線位置図》

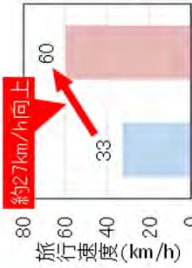
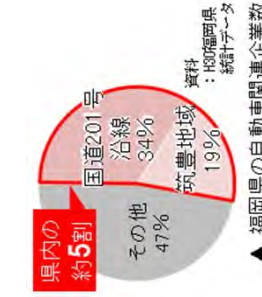


規制時間	件数	割合
～1時間	5	12%
1～3時間	24	59%
3～5時間	7	17%
5時間～	2	5%
不明	3	7%
合計	41	100%

▲ 八木山バイパス通行規制の発生状況 (H27～H29(3年間))

資料：国土交通省資料

▲ 大型車交通量の推移



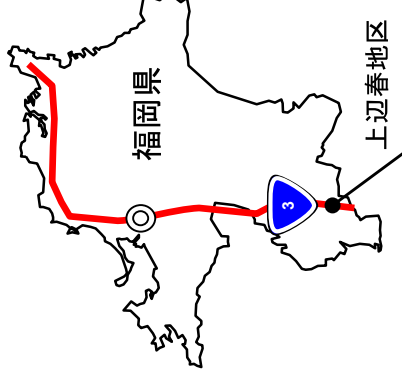
福岡3号 維持管理(老朽化対策)【直轄】

道路-3

ふくおか きたきゅうしゅう かごしま かごしま

- 国道3号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約470kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。
- 定期点検の結果、修繕が必要と判断された国道3号八女市上辺春地区において、路盤打換工事等を実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図る。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間 : 北九州市～八女市
延長 : 約137km
R2補正 : 4.7億円

《現状》



全景



路面クラック



路面クラック

《対策イメージ》



宮ノ陣橋(道路メンテナンス事業(福岡県 橋梁長寿命化修繕計画))【補助】

- (主)久留米小郡線宮ノ陣橋は久留米市と小郡市を結ぶ緊急輸送路に位置する橋梁であり、1986年(橋齢34年)の架橋から老朽化が進み、早期に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ)となっている。
- 補正予算の充当により、早期に対策が必要な宮ノ陣橋などの修繕工事等を推進することで、予防保全型メンテナンスへの早期転換を図る。

《代表箇所》

- 事業箇所：宮ノ陣橋 (橋長：401m)
- 架設年次：1986年
- 判定区分：Ⅲ(令和元年度)
- 路線名：(主)久留米小郡線
- 所在地：福岡県久留米市

《長寿命化修繕計画》

- 計画の名称
道路メンテナンス事業
(福岡県 橋梁長寿命化修繕計画)
- OR2補正(事業費)：23.5億円
うち、宮ノ陣橋：0.2億円

《位置図》



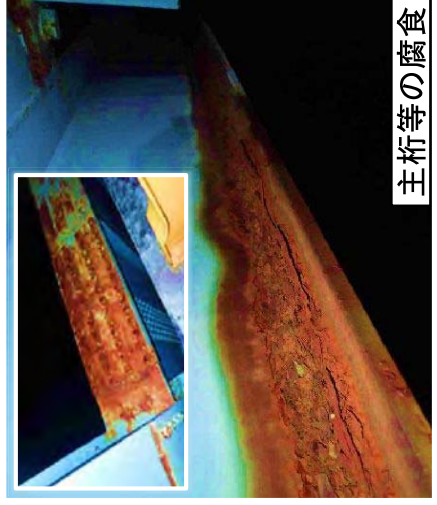
《平面図》



《事業箇所》



《現状状況写真》



《対策イメージ》



5—道路

あ	い	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

■大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する地域高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道208号大川佐賀道路の改良工事、橋梁下部工事を実施することで、大野島IC～諸富IC間の令和4年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

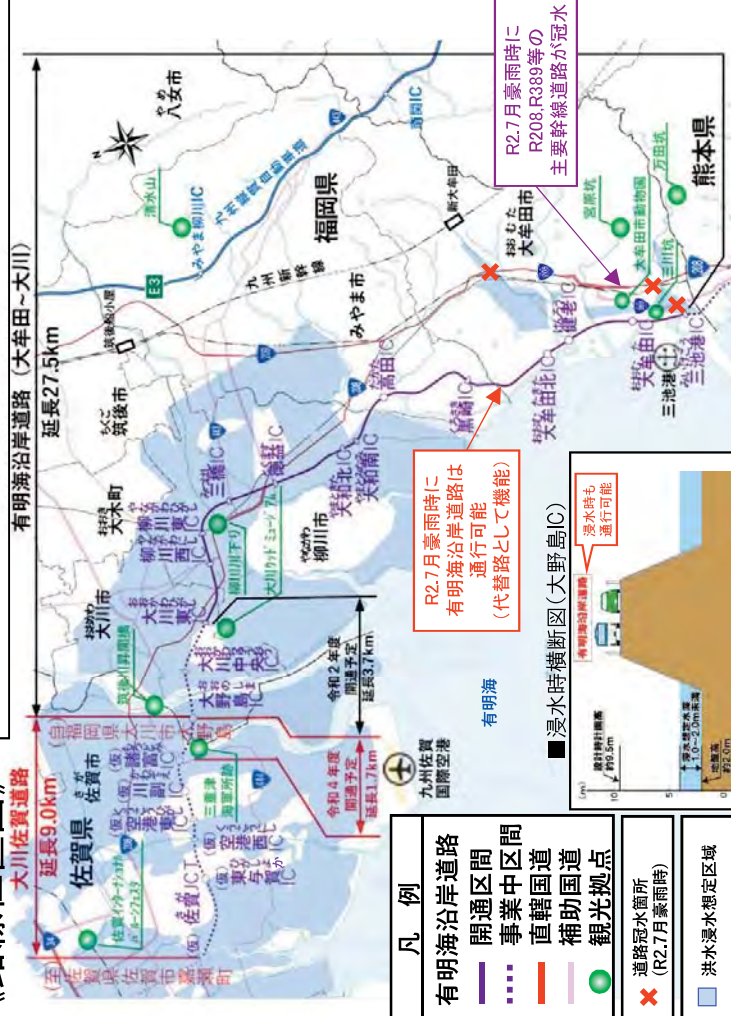
《整備効果》



事業区間：福岡県大川市大野島
佐賀県佐賀市嘉瀬町

延長 : 9.0km
 全体事業費 : 898億円
 R2補正 : 10.5億円 (うち福岡県0.0億円、佐賀県10.5億円)

《路線位置圖》

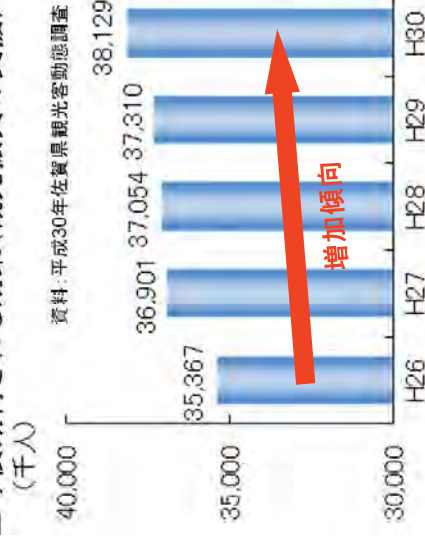


◆令和2年7月豪雨

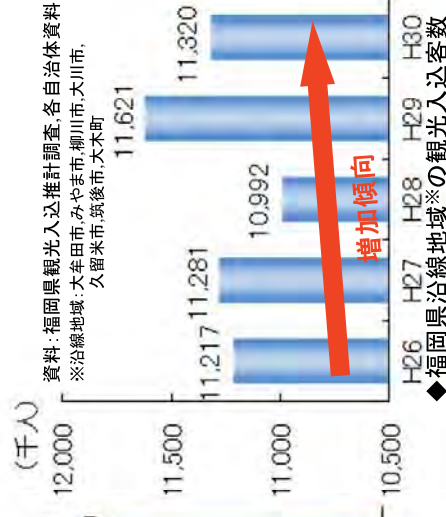
国道208号道路冠水状況(大牟田市)

※令和2年7月豪雨写真：大牟田市HP(「大牟田市令和2年7月豪雨災害検証委員会(第1回)」会議資料より)

■今後期待される効果(観光振興の支援)



◆佐賀県の観光入込客数



◆福岡県沿線地域※の観光入込客数

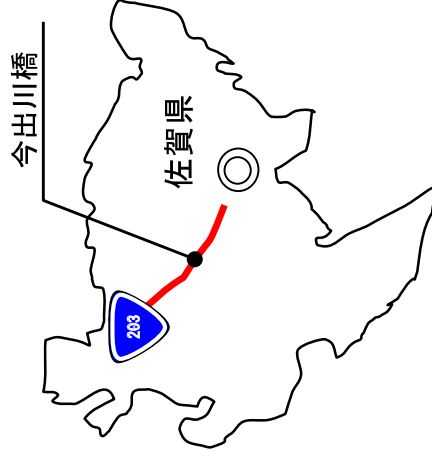
佐賀203号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

道路ー7

- 国道203号は、佐賀県唐津市を起点とし佐賀県佐賀市に至る全長約40kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。
- 豪雨時、通行止めが長期化する渡河部の橋梁流失等の災害リスクがあると判断された国道203号今出川橋において、洗掘防止対策工等の洗掘・流失対策を実施することで、豪雨による災害発生 の防止を図る。

いまいでがわはし

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間 : 唐津市～小城市
延長 : 約41km
R2補正 : 1.4億円

《現状》



全景

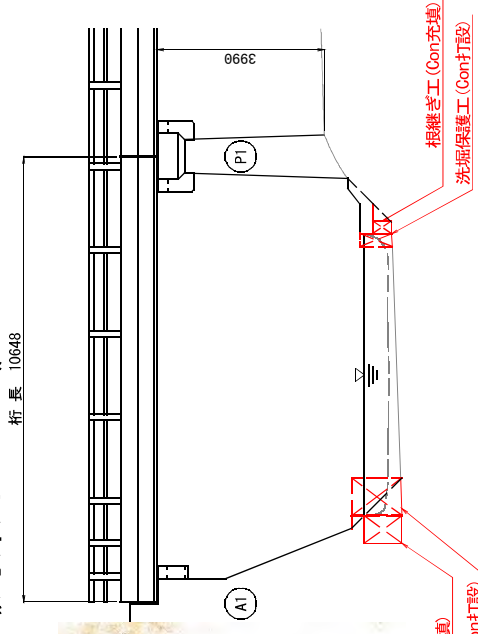


近景



洗堀部

《対策イメージ》



国道497号 松浦佐々道路【直轄】

■松浦佐々道路は、福岡市を起点として、唐津市・伊万里市・松浦市・佐世保市を経由し武雄市に至る「西九州自動車道」の一部を構成し、九州北西部の地域経済活性化に貢献する道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道497号松浦佐々道路の改良工事、橋梁下部工工事、橋梁上部工工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



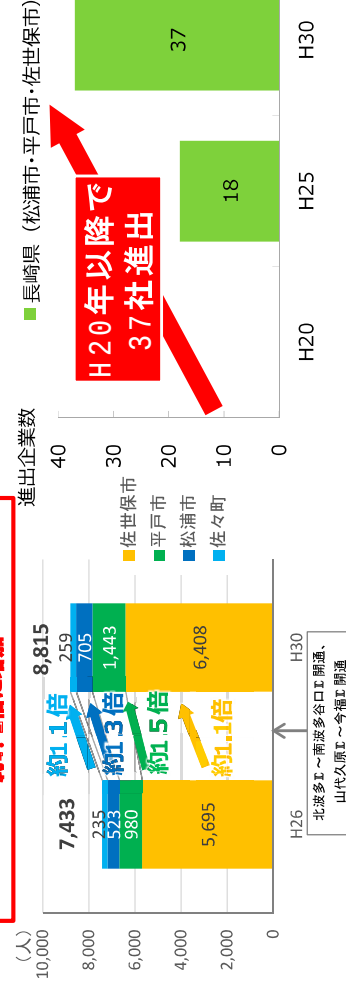
《諸元等》

事業区間：長崎県松浦市志佐町
～北松浦郡佐々町沖田免
延長：19.1km
全体事業費：907億円
R2補正：18.6億円

《整備効果》

- 当該道路の整備により、土砂災害危険区域を回避する道路ネットワークを形成
- 今後期待される効果（観光振興の支援、地域産業の支援）

西九州自動車道沿線で福岡からの来訪者が約1.2倍に増加



▲8月休日の福岡県からの来訪者推移（佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町）

※資料：RSSS（地域経済分析システム）の滞在人口データ（携帯電話の運用データに基づくデータ）

▲沿線市町の進出企業数推移（累積）

※資料：各市町提供資料及び各市町村ホームページ

《路線位置図》



写真①



起点側（平戸市側）

※西九州自動車道全線約150kmのうち115km(約77%)が開通済み(H31.4.1時点)

※長崎県より提供(R元.8.27 国道204号法面崩壊)

長崎34号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

道路-9

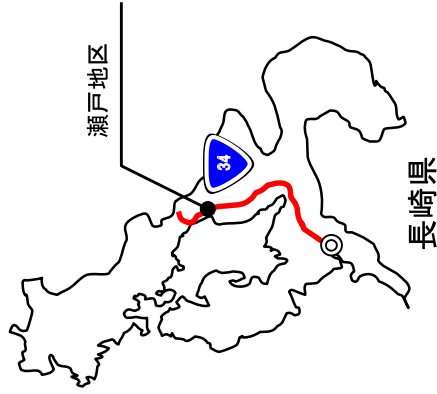
さがとす ながさき ながさき

■ 国道34号は、佐賀県鳥栖市を起点とし長崎県長崎市に至る全長約130kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。

■ LP(レーザープロファイラ)調査※等の高度化された点検手法等により、新たに対策が必要と判断された国道34号東彼杵郡東彼杵町瀬戸地区において、落石防護網等の法面・盛土対策を実施することで、豪雨による土砂災害発生防止を図る。

※ 高精度で3次元的な計測データを用いた解析。

《位置図》



《平面図》



《対策イメージ》



《諸元等》

事業区間 : 東彼杵町～長崎市
延長 : 約58km
R2補正 : 3.7億円

《現状》



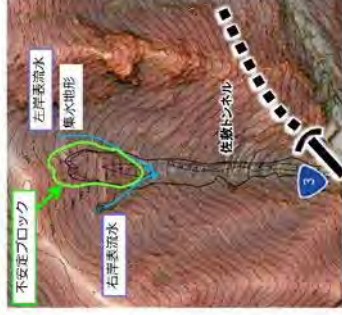
法面崩壊状況



【参考】LP調査を用いた点検・検討事例



＜斜面山頂部からの大規模崩落＞
国道3号 令和2年7月豪雨



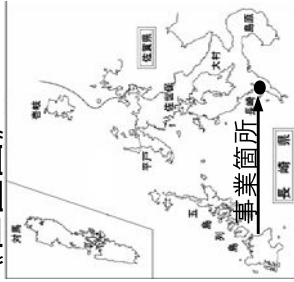
＜レーザープロファイラでの調査結果＞

(主)長崎南環状線(新戸町～江川町工区)【補助】

■国道499号では慢性的な渋滞が発生していることから、重要港湾「長崎港」へのアクセス性向上と交通円滑化を図るため、バイパスの整備を行うことにより、生産性向上を支援する物流ネットワークの確保を目的とした事業である。

■迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、主要地方道長崎南環状線の道路改良工事、橋梁下部工事を推進することで、サプライチェーンの強靱化や物流の生産性向上に資する道路ネットワークの整備を推進。

《位置図》



《諸元等》

- 事業区間：長崎県長崎市新戸町～江川町
- 延長：5.15km
- 全体事業費：250億円
- OR2補正：23.31億円

《効果》

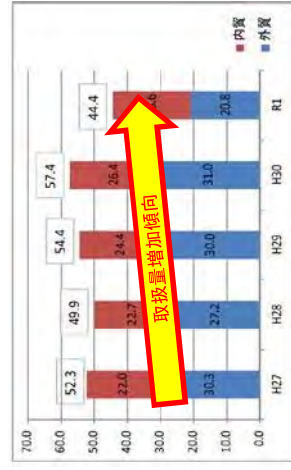
- ・バイパスの整備により、新戸町IC～長崎港間の所要時間が約6分短縮されることで、県下有数の産業都市である諫早市と長崎港とのアクセスが向上するとともに、定時性が確保される。
- ・並行する国道499号に集中していた交通が分散されることで、渋滞緩和が図られる。

諫早市の製造品出荷額は4,206億円（H30工業統計）で県下有数の産業都市

《平面図》



長崎港 年次貨物量推移



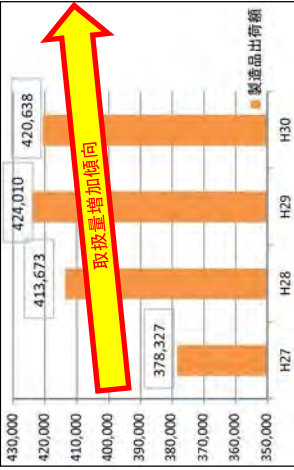
出典：港湾統計 ※R1はコロナ渦等の影響のため減

電子部品等出荷額ランキング



出典：H30工業統計調査

諫早市 製造品出荷額推移



出典：工業統計調査

道路—12

■宇土道路は、熊本市と天草市を結ぶ地域高規格道路熊本天草幹線道路の一部を構成し、宇土半島に存在する特殊通行規制区間に対する代替機能確保及び交通事故の低減、国道５７号の速度低下を解消することを目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道57号宇土道路の改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

※宇土道路は設計速度80km/hで算出

熊本3号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

道路-13

くまもと やつしろ かごしま かごしま

■国道3号南九州西回り自動車道は、熊本県八代市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約140kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。

■予測浸水深よりも高い位置に整備されている直轄国道の高架区間等を緊急避難場所として活用するため、南九州西回り自動車道 熊本県葦北郡芦北町花岡地区において、避難施設等の整備を実施し、津波や洪水からの緊急避難場所の確保を図る。

《位置図》



《平面図》



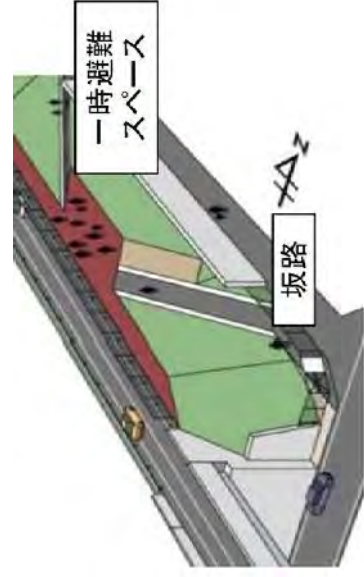
《諸元等》

事業区間	やつしろ 八代市	みなまた 水俣市
延長	約30km	
R2 補正	9.1億円	

《現状》



《対策イメージ》



道路区域に設けられる緊急避難施設のイメージ

熊本天草幹線道路 国道324号 本渡道路【補助】

- 本渡道路は、熊本都市圏と天草地域を結び沿線地域の交流・連携を強化する熊本天草幹線道路の一部を構成し、天草瀬戸大橋の前後区間の交通渋滞緩和と災害時等の代替路整備などの安全・安心の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、本渡道路の改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：熊本県天草市港町～天草市志柿町瀬戸上

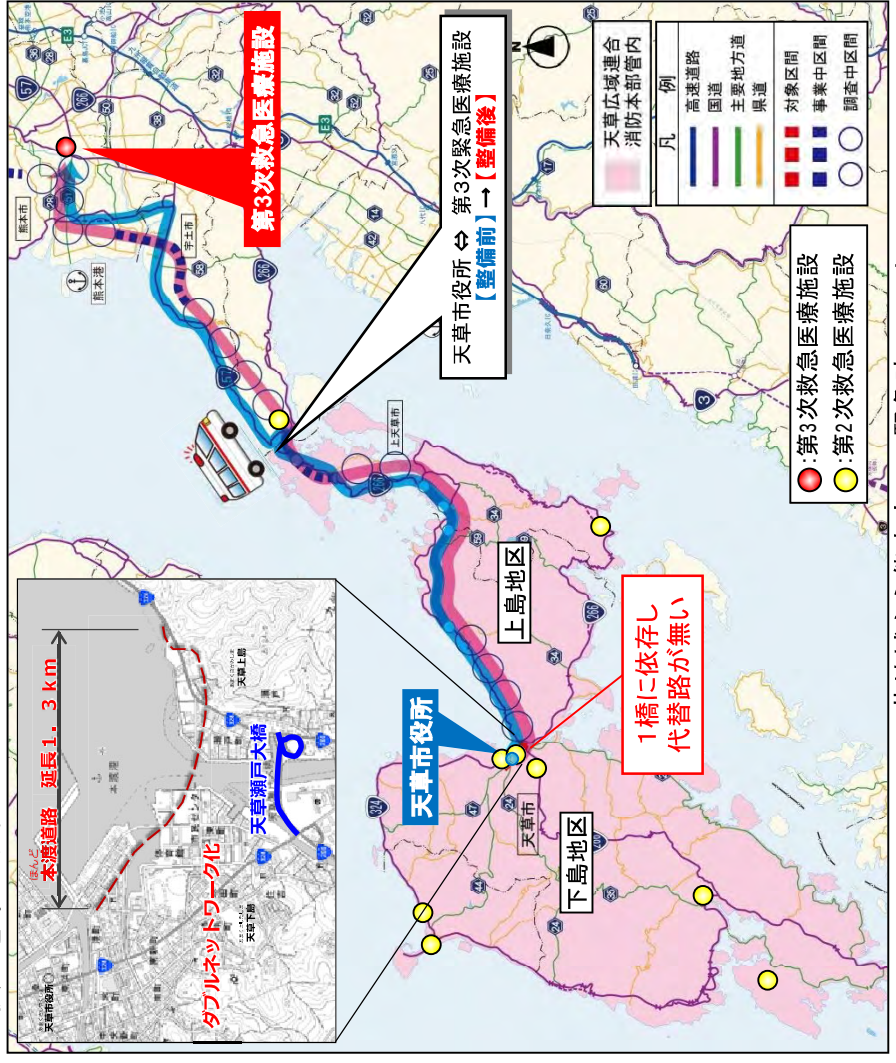
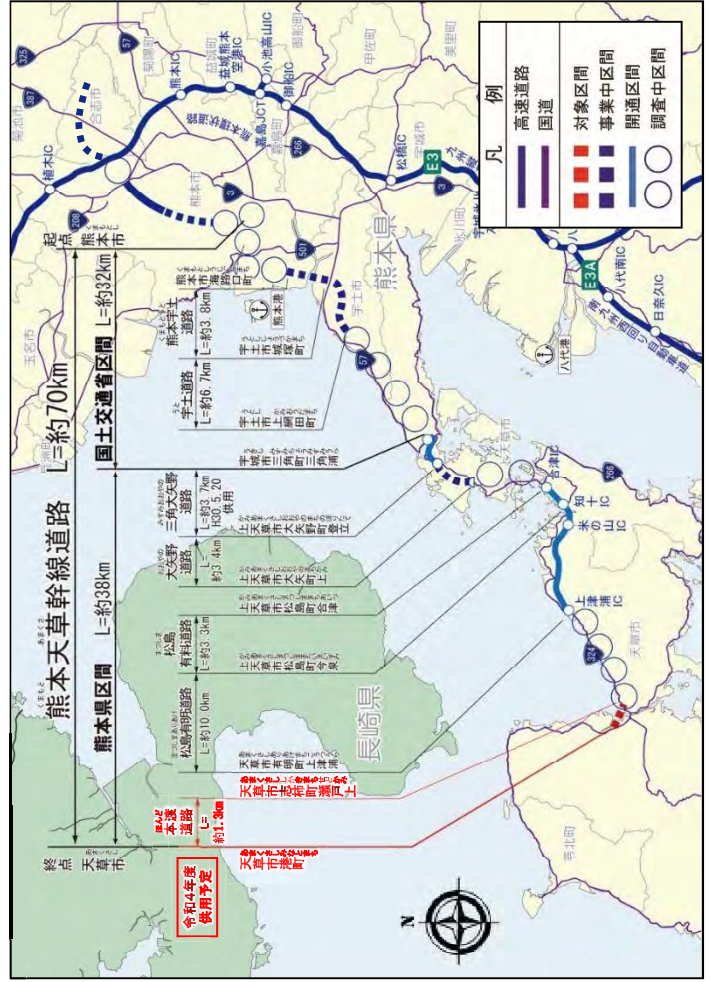
延長：1.3km
全体事業費：196億円
R2補正：1.0億円

《災害時等の代替路の確保》

現道の天草瀬戸大橋は天草上島と下島を結ぶ唯一の道路。本渡道路の整備により、1橋依存から脱却し、災害時には代替路や緊急輸送道路として大きな役割を果たす。



《路線位置図》



天草地域から熊本市への緊急時のルート

【防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保】

さんこうほんやばけい

国道212号 三光本耶馬溪道路【直轄】

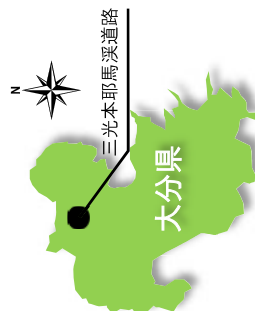
道路-15

さんこうほんやばけい

■三光本耶馬溪道路は、九州横断自動車道と東九州自動車道及び重要港湾中津港とを相互に連絡する地域高規格道路中津日田道路の一部を構成し、物流の効率化及び広域観光の振興を支援するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道212号三光本耶馬溪道路のトンネル舗装工事、改良工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

さんこうほんやばけい
【三光本耶馬溪道路】
事業区間：大分県中津市三光西森～中津市本耶馬溪落合
延長：12.8km
全体事業費：556億円
R2補正：11.5億円

《路線位置図》



《整備効果》



▲国道212号の通行規制状況（H21～H30）、九州北部豪雨（H24.7、H29.7）の被災状況



写真①：H24.7被災（路肩崩落）



写真②：H29.7被災（路肩崩落）



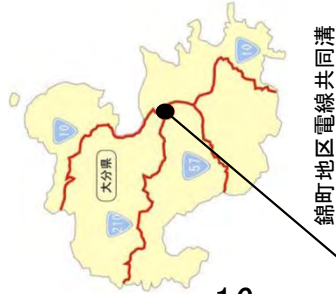
写真③：H29.7被災（冠水）

大分10号 電線共同溝【直轄】

- 無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- 当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な通行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援する。

○国道10号 錦町地区電線共同溝

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県大分市錦町
～大分県大分市錦町
（おおいと おおいた にしきまち）

整備延長：0.4 km（両側）

全体事業費：約5億円

R2補正：1.0億円

○整備の必要性

○道路上の電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなる

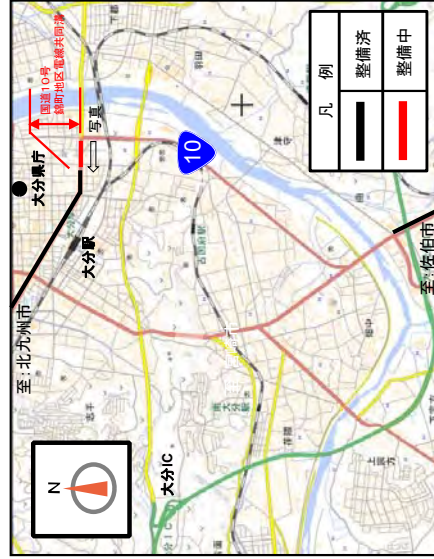


＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞

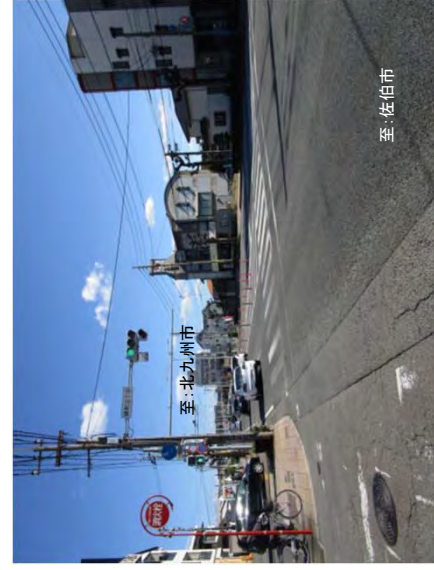
＜飛来物による電柱倒壊の事例＞

＜歩行の支障となる電柱の事例＞

《路線位置図》



《現地状況》

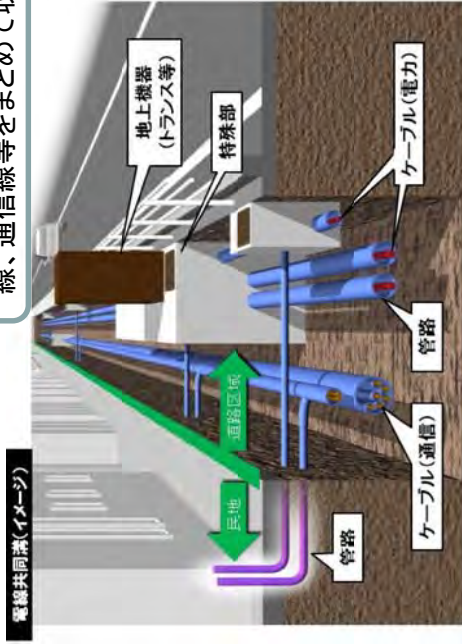


至：佐伯市

※工事着手前

○電線共同溝とは

道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容



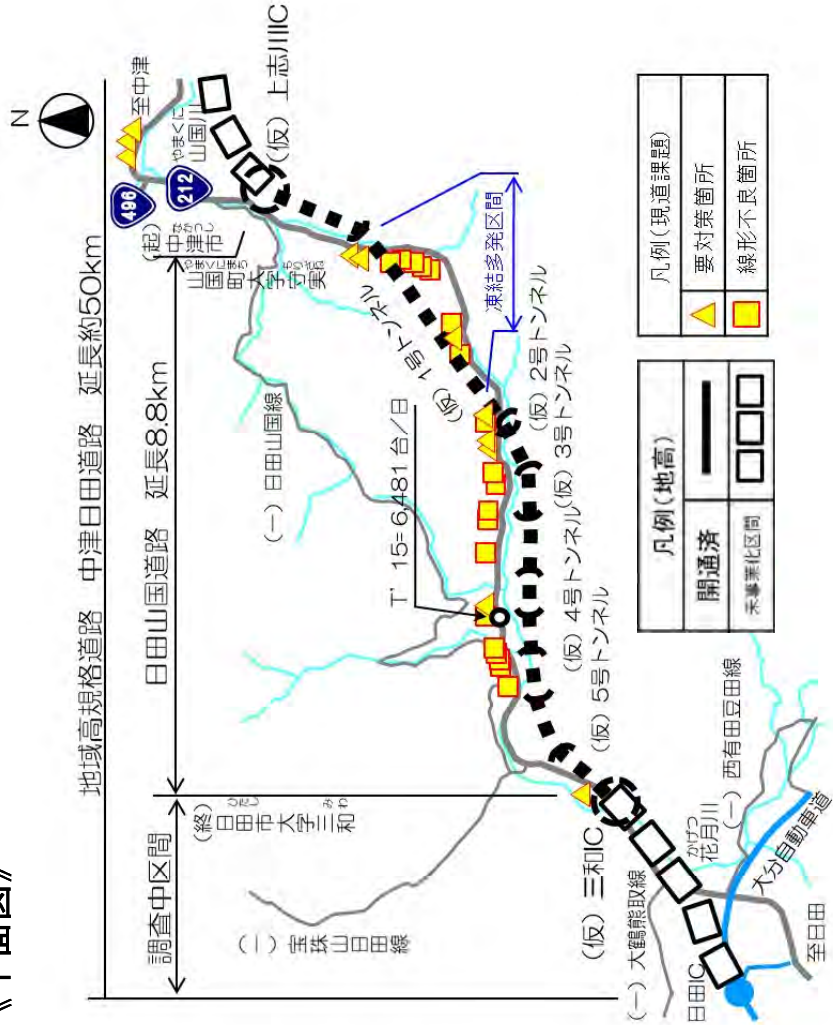
電線共同溝（イメージ）

中津日田道路 国道212号 日田山国道路【補助】

■中津日田道路は、周防灘地方生活圏と日田玖波地方生活圏の連携強化及び、大分自動車道、東九州道及び重点港湾中津港との連絡性の強化に資する約50kmの地域高規格道路である。日田山国道路は、災害による全面通行止め箇所、冬期の凍結多発区間、道路防災点検要対策箇所及び線形不良箇所を回避することにより、生活圏の連携強化、大分自動車道及び重点港湾中津港へのアクセス強化による産業の活性化を目的としたバイパス事業である。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行確保するため、補正予算の充当により、日田山国道路の改良工事、橋梁工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《平面図》



《位置図》



《現地状況写真》



《効果》

- 地域産業の活性化を支える効率的な物流ネットワークの強化
- 災害、冬季、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 高次救急医療施設へのアクセス向上

国道10号 都城道路(Ⅱ期)【直轄】

みやこのじょう

■都城道路(Ⅱ期)は、地域高規格道路都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道10号都城道路(Ⅱ期)の改良工事、橋梁下部工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

みやこのじょう

《位置図》

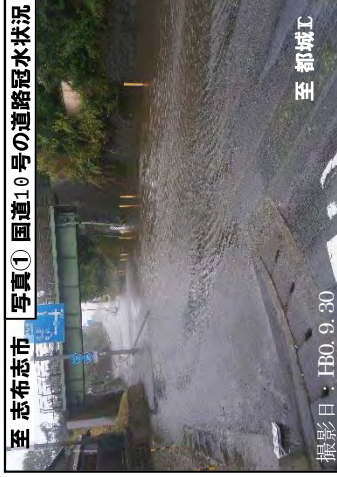


事業区間：宮崎県都城高木町～都城乙房町
延長：5.7km
全体事業費：160億円
R2補正：45.3億円

《諸元等》

事業区間：宮崎県都城高木町～都城乙房町
延長：5.7km
全体事業費：160億円
R2補正：45.3億円

《被災状況等》



▲ R1大雨による冠水状況

▲ 冠水時の救助活動状況

《効果》

○本路線の整備により、通常時・災害時ともに高次医療施設への搬送時間短縮(約27分⇒約12分)が図られるとともに、搬送時の揺れや振動も抑えられ、患者の安静な搬送が期待される。



二次救急医療施設
都城市郡医師会病院

※ 過去10年間の救急搬送人員の推移
資料：令和2年版消防年報(都城市消防局)



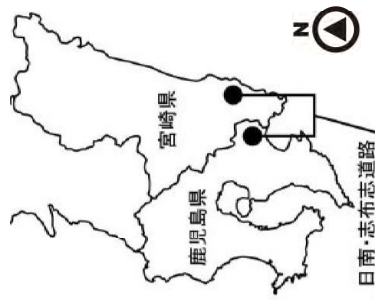
【防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保】

国道220号 日南・志布志道路【直轄】

道路-19

- 日南・志布志道路は、地域観光の発展に寄与するとともに、飼料輸送など産業活動を支援し、並行する国道220号の縦断線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避する安全で円滑な高速ネットワークの形成を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道220号日南・志布志道路の改良工事、橋梁下部土工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



事業区間：宮崎県日南市大字東井分
～日南市大字平野
鹿児島県志布志市志布志町帖
～志布志市志布志町志布志

延長：6.9 km
全体事業費：222億円
R2補正：17.8億円（宮崎県：11億円、鹿児島県：6.8億円）

《諸元等》



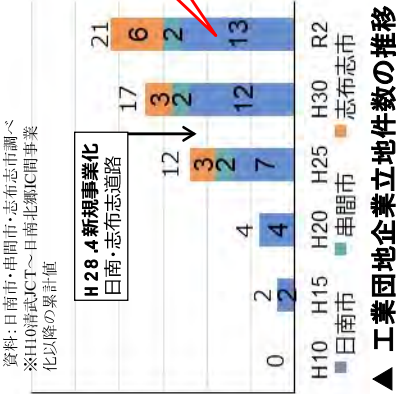
志布志市
(志布志市役所)

宮崎市
(宮崎市役所)



区間：東九州自動車道、一般国道220号等を利用した場合の各市役所間
資料：全国道路・街路交通情勢調査 (S33) 現況：平日12hピーク時旅行速度 (H27)
整備前：平日12hピーク時旅行速度 (S33) 現況：平日12h遅延旅行速度 (H27)
全線開通：東九州道未開通区間は設計速度、その他道路は平日12h遅延旅行速度 (H27)

▲ 所要時間の变化



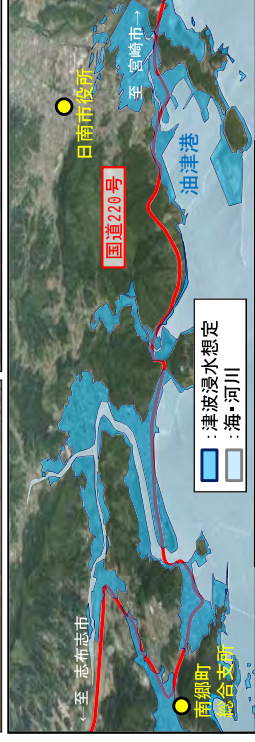
▲ 工業団地企業立地件数の推移

日南市では
新たな工業団地
造成を検討中



▲ H29年3月に運送業者が企業進出

▲ 津波浸水想定区域



▲ 日南市付近の津波浸水予測図

宮崎10号交通安全対策(防災・減災対策)【直轄】

道路-20

ふくおか きたきゅうしゅう かごしま かごしま

■国道10号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約490kmの主要幹線道路であり、

第一次緊急輸送道路に指定されている。

みやざき のべおか

■宮崎県延岡市～都農町の間のCCTVカメラを増設、災害時等における道路の異常をいち早く発見し、

早期の災害対応や事故防止に努める。

《位置図》



▲下図：国土地理院電子国土より

《諸元等》

事業区間：宮崎県延岡市～都農町のべおか

事業箇所：6箇所

R2補正：0.72億円

《対策イメージ》

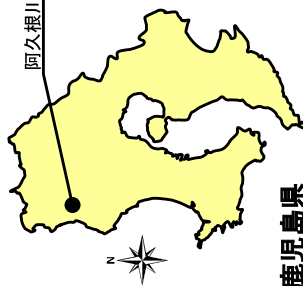


▲CCTVカメラ

国道3号 阿久根川内道路【直轄】

- 阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州西部の地域経済の活性化及び高速定時制性の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道3号阿久根川内道路の改良工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



鹿児島県

《諸元等》

【阿久根川内道路】
事業区間：鹿児島県阿久根市鶴川内
～薩摩川内市水引町
延長：22.4 km
全体事業費：1,050億円
R2補正：9.8億円

《整備効果》

- 災害時の避難路、緊急輸送道路を確保



写真①：法面崩壊状況



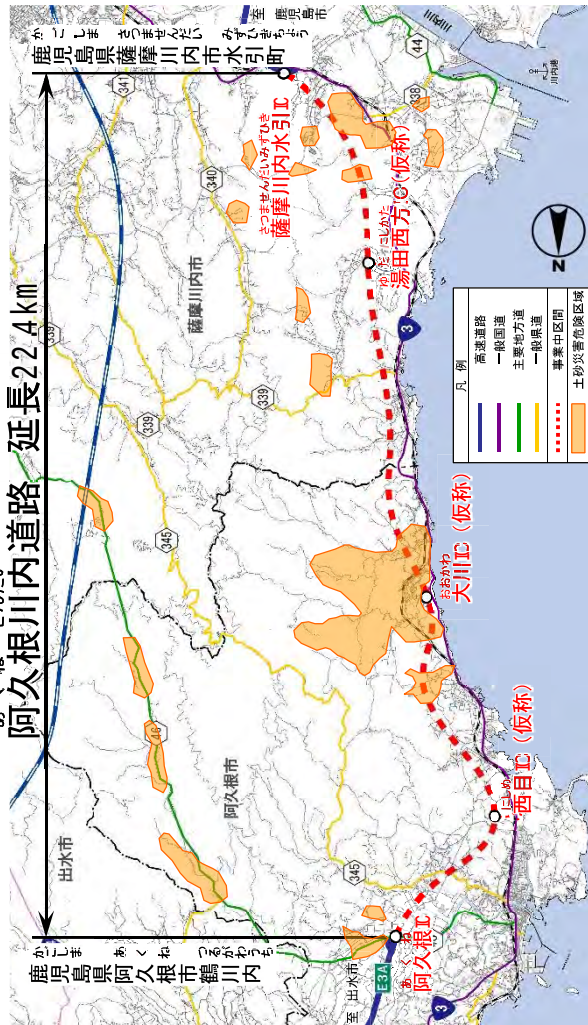
写真②：大雨による冠水状況



写真③：大雪による混雑状況



《路線位置図》



北薩横断道路 国道 504号 広瀬道路【補助】

ひろ せ ほうくさつおうだんどう ちろ

- 広瀬道路は、北薩横断道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道などと一体となった広域交通ネットワークにより、鹿児島空港へのアクセス向上を目的に事業を推進中。
- 災害時において速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、一般国道504号広瀬道路の改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

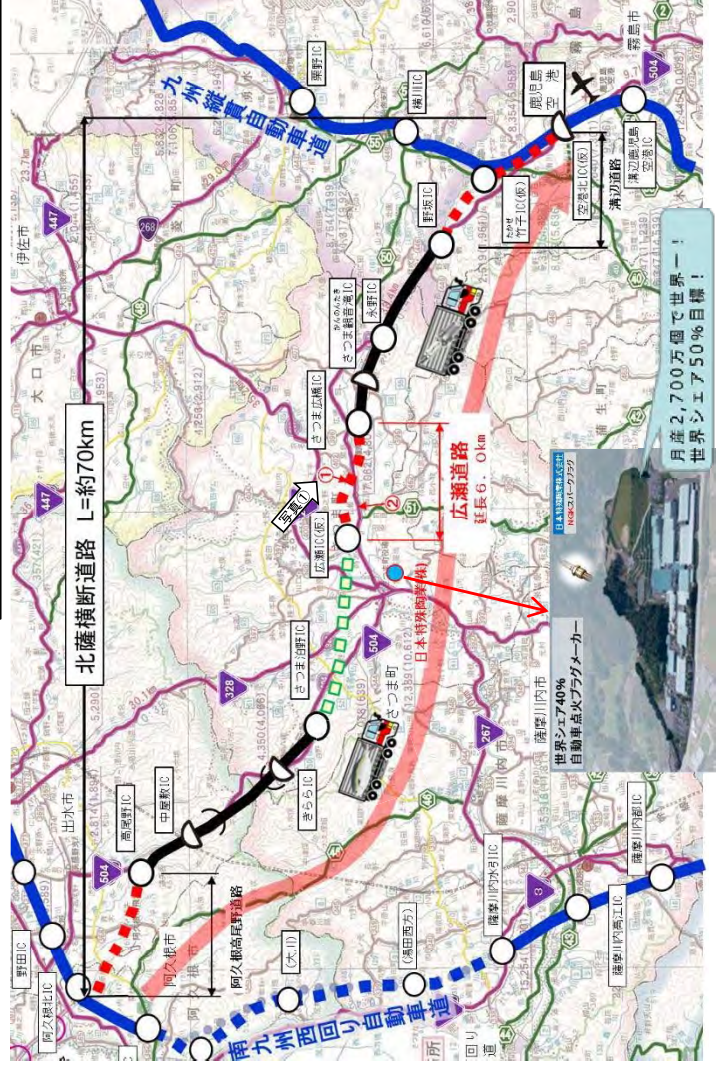
《位置図》



《諸元等》

事業区間： 鹿児島県薩摩郡さつま町求名～
鹿児島県薩摩郡さつま町広瀬
事業主体： 鹿児島県
延長： 6.0km
全体事業費： 160.0億円
R2補正： 20.0億円

《平面図》



《道路整備状況》

写真①



広瀬大橋

至 さつま町
至 鹿児島空港

《現地状況写真》



豪雨により落石が発生し交通遮断

豪雨により路面が冠水し交通遮断

《ストック効果》

北薩横断道路の整備により、鹿児島空港の物流機能と一体となって地域の経済活動が活性化

